

組立説明図				部品(パーツ)	
JISQ1011:2009				JISA5308:2009	
工程名	管理項目	品質特性	管理方法及び検査方法	品質基準	検査基準
1. 配合	1' <ul style="list-style-type: none"> a) 細骨材の粗粒率 b) 粗骨材の粗粒率又は実積率 c) スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度 d) 細骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率) e) 粗骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率) f) 計量配合の指示方法(必要な場合) g) 単位水量(高強度コンクリートの場合) 	-	1''(1) 細骨材の粗粒度, 粗骨材の粗粒率又は実積率, スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度, 細骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 粗骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 単位水量(高強度コンクリートの場合), 再生骨材Hとその他骨材を併用する場合の使用比率	附属書C C.6 回収水 C.6.2 スラッジ固形分率の限度 スラッジ水を用いる場合には, スラッジ固形分率は3%を超えてはならない。 なお, レディーミクストコンクリートの配合において, スラッジ水中に含まれるスラッジ固形分は, 水の量に含めない。 C.6.3 スラッジ水の管理 a) バッチ濃度調整方法, 又は連続濃度測定方法を用いる。 b) C.6.2に適合するように, スラッジ水の管理状況に対応して, コンクリートに使用 b) するスラッジ水の濃度を定めて管理する。 c) バッチ濃度調整方法を用いる場合には, スラッジ水の濃度を測定・記録し, c) 自動演算装置を用いて目標スラッジ固形分率となるようにスラッジ水の計量値 c) を決定して, スラッジ水を使用する。 d) 連続濃度調整方法を用いる場合には, スラッジ水を使用する度にその濃度を d) 自動濃度計によって測定・記録し, 自動演算装置を用いて目標スラッジ固形 d) 分率となるようにスラッジ水の計量値を決定して, スラッジ水を使用する。 e) スラッジ水の濃度の測定精度の確認は, 少なくとも3ヶ月に1回の頻度で, e) C.8.2.6によって行う。また, スラッジ水の濃度の測定方法として自動濃度計を e) 用いる場合は, 始業時にスラッジの密度から自動濃度計の表示値を確認し, e) これを記録する。 f) スラッジ水の濃度及び測定器具の精度確認の記録は, 購入者からの指示が f) あれば, スラッジ固形分率の算出根拠として提出する。	C.8.2.6 スラッジ水の濃度の試験 スラッジ水の濃度の試験は次による。 a) 試験用器具 1) はかりは, 容量1000g以上で0.1gまで計量できるものとする 2) 乾燥用バットは, 約500mlを容れるのに十分な大きさのものとする。 3) 全量フラスコは, 容量500mlとする。 4) ビーカーは, 容量500mlとする。 b) 試料 代表的スラッジ水を約5L採取し, これを試料とする。 c) 操作 1) 試料をよくかくはんしながら乾燥用バットに約500ml分取し, その質量(m1)を0.1gまで量る。 2) これを乾燥機に入れ, 105~110 で恒量となるまで乾燥する。室温まで放冷した後, その質量(m2)を0.1gまで量る。 b) 計算 スラッジ水濃度(Cs)は, 次の式によって算出し, 四捨五入によって小数点以下1けたに丸める。 $Cs = m2 / m1 \times 100 - 0.2$
注(1) 細骨材の粗粒率, 粗骨材の粗粒率又は実積率, スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度, 細骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 粗骨材の表面水率(人工軽量骨材の場合は含水率), 単位水量(高強度コンクリートの場合)の測定頻度並びに細骨材粗粒率, 骨材の表面水率及び単位水量の測定方法は次による。 1) 測定頻度 1.1) 細骨材の粗粒率 1回以上/日 1.2) 粗骨材の粗粒率又は実積率 1回以上/週 1.3) スラッジ固形分率及びスラッジ水の濃度 - スラッジ固形分率 使用の都度 , スラッジ水濃度(通常, 密度から求める)とスラッジ計量値から固形分量を求めそれをはかり取ったセメント量で除して求める。 - スラッジ水の濃度 ・バッチ濃度調整方式 1回以上/日, かつ, 濃度調整の都度 ・連続濃度測定方式 使用の都度 , 自動濃度計で測定 1.4) 細骨材の粗粒率(人工軽量骨材の場合は含水率) 2回以上/日<人工軽量骨材の場合には, 使用の都度, 高強度コンクリートの場合は始業前, 1回以上/午前, 1回以上/午後> 1.5) 粗骨材の粗粒率(人工軽量骨材の場合は含水率) 必要の都度<人工軽量骨材の場合には, 使用の都度, 再生骨材Hの表面水率は1回以上/使用日> 1.6) 単位水量 1回以上/日(高強度コンクリートの場合) 2) 細骨材の粗粒率の測定方法 細骨材の粗粒率の測定方法は, JIS A 1102 又はこれに代わる合理的な方法 による。 3) 骨材の表面水率の測定方法 3.1) 細骨材の表面水率の測定方法は, JIS A 1111, JIS A 1125, JIS A 1802, 又は連続測定が可能な簡易試験方法 による。 ただし, 再生細骨材Hの表面水率測定方法は, JIS A 1111 又はJIS A 1125 による。 3.2) 粗骨材の表面水率の測定方法は, JIS A 1803 又はこれに代わる合理的な試験方法 による。 4) 単位水量の測定方法は, トラックアジテーター1台分のコンクリートの計量値と当該コンクリートに用いた骨材の実測表面水率(人工軽量骨材の場合は, 使用時の含水率)とによって算出するか又は合理的な試験方法による。					